光華幼稚園教諭募集要項

1	募集人員	1名
2	採用予定年月日	2026年4月1日以降
3	応募資格	短大卒業以上 教員免許状（幼稚園1種・または2種）を有する者 保育士資格を有する者
4	契約期間	採用日～2027年3月31日
5	職種	特別契約教諭 ※本学園では、全員入職時は特別契約教員として採用しております。1 年ごとに勤務実績を見て判断し、契約更新いたします。勤務実績によっては、1回目の契約期間をもって、更新せず、契約終了となる場合もあります。 専任化については、勤務実績等により3年以内に判断します。
6	業務内容	幼稚園教諭（担任業務あり）
7	勤務地	光華幼稚園
8	待遇	本学園の規定による（以下は参考） 大卒：203,500円～　（本俸 ＋ 調整手当） 期末手当：本俸の3か月分（ただし採用日に応じて調整あり）※2026年度実績 諸手当：通勤手当[月額上限50,000円]、住居手当、扶養手当、教員特別手当等 【平均年収】30代　約413万円（本俸+賞与）+各諸手当 40代　約540万円（本俸+賞与）+各諸手当
9	雇用条件	①　勤務時間…平日 8：30～16：30・土曜日 8：30～14：00 ※変形労働時間制や各種園行事等により、上記以外の時間帯（休日出勤含む）でご勤務いただく場合があります。 ②休日…日祝日・法律に定められた国民の休日・創立記念日（9/15） 年末年始（12/28～1/3）・盂蘭盆会（8/14～16）
10	福利厚生	健康保険及び年金…日本私立学校振興・共済事業団 雇用保険・労働災害保険加入
11	応募方法 応募締切	随時募集　※決定次第締切　応募書類は郵送のみ受付 提出先：〒615-0861 京都市右京区西京極野田町39番地 学校法人　光華学園　人事部宛 封筒に「幼稚園教諭希望」と朱書きで記入のこと
12	審査方法	第一次審査：書類選考 第二次審査：●実技（ピアノ演奏〔簡単な童謡、自由曲〕）（絵本の読み語り・手遊び） ●筆記試験（作文） ●面接 第三次審査：理事長面接
13	提出書類	①　履歴書（写真貼付） ②　教員免許状の写し
14	その他 注意事項	・本業務へ従事するに当たっては、令和8年 12 月 25 日施行の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号。以下「こども性暴力防止法」といいます。）に基づき、特定性犯罪の前科の有無を確認するための犯罪事実確認が必要となります。 ・特定性犯罪の前科がある場合（特定性犯罪事実該当者の場合）は、こども性暴力防止法に基づき、本業務に従事させないこと等の措置を講じる必要があるため、当法人の採用条件の一つとして、特定性犯罪の前科がないことを求めることとしています。 ・このため、予め、採用選考過程において、履歴書等により、特定性犯罪の前科の有無を確認いたします。賞罰がない場合は「賞罰なし」とご記入ください。

		※「特定性犯罪」、「特定性犯罪事実該当者」の内容は別紙参照条文をご参照ください。 ・応募時に提出された書類に含まれる個人情報は、採用選考以外の目的のためには使用致しません。応募時または採用選考過程で提出された応募書類や資料などは、原則として返却致しません。採用選考終了後に本学で責任をもって破棄いたします。
15	試 験 会 場	本学園
16	連 絡 先	学校法人　光華学園 人事部　採用担当　TEL075-325-5265

別紙（参照条文）

学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号）（抄）

（定義）

第二条（略）

7　この法律において「特定性犯罪」とは、次に掲げる罪をいう。

一　刑法（明治四十年法律第四十五号）第百七十六条、第百七十七条、第百七十九条から第百八十二条まで、第二百四十一条第一項若しくは第三項又は第二百四十三条（同項の罪に係る部分に限る。）の罪

二　盗犯等の防止及び処分に関する法律（昭和五年法律第九号）第四条の罪（刑法第二百四十一条第一項の罪を犯す行為に係るものに限る。）

三　児童福祉法第六十条第一項の罪

四　児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律（平成十一年法律第五十二号）第四条から第八条までの罪

五　性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律（令和五年法律第六十七号）第二条から第六条までの罪

六　都道府県の条例で定める罪であって、次のイからニまでに掲げる行為のいずれかを罰するものとして政令で定めるもの

イ　みだりに人の身体の一部に接触する行為

ロ　正当な理由がなくて、人の通常衣服で隠されている下着若しくは身体をのぞき見し、若しくは写真機その他の機器（以下このロにおいて「写真機等」という。）を用いて撮影し、又は当該下着若しくは身体を撮影する目的で写真機等を差し向け、若しくは設置する行為

ハ　みだりに卑わいな言動をする行為（イ又はロに掲げるものを除く。）

ニ　児童と性交し、又は児童に対しわいせつな行為をする行為

8　この法律において「特定性犯罪事実該当者」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

一　特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者（その刑の全部の執行猶予の言渡しを受けた者（当該執行猶予の言渡しが取り消された者を除く。次号において「執行猶予者」という。）を除く。）であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して二十年を経過しないもの

二　特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者のうち執行猶予者であって、当該裁判が確定した日から起算して十年を経過しないもの

三　特定性犯罪について罰金を言い渡す裁判が確定した者であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して十年を経過しないもの

附　則

（改正前の刑法に規定する罪についてのこの法律の適用関係）

第二条　第二条第七項（第一号に係る部分に限る。）の規定の適用については、次に掲げる罪は、同号に掲げる罪とみなす。

一　刑法の一部を改正する法律（平成二十九年法律第七十二号。次項において「刑法一部改正法」という。）による改正前の刑法第百七十八条の二、第百八十一条第三項若しくは第二百四十一条の罪又はこれらの罪の未遂罪

二　刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律（令和五年法律第六十六号）第一条の規定による改正前の刑法第百七十六条から第百七十八条までの罪又はこれらの罪の未遂罪

2　第二条第七項（第二号に係る部分に限る。）の規定の適用については、刑法一部改正法附則第三条の規定

による改正前の盗犯等の防止及び処分に関する法律第四条の罪（刑法一部改正法による改正前の刑法第二百四十一条前段の罪又はその未遂罪を犯す行為に係るものに限る。）は、同号に掲げる罪とみなす。

（懲役を言い渡す裁判についてのこの法律の適用関係）

第三条　第二条第八項（第一号及び第二号に係る部分に限る。）及び第三十四条第二項（第一号並びに第二号ロ及びホに係る部分に限る。）の規定の適用については、刑法等の一部を改正する法律（令和四年法律第六十七号）第二条の規定による改正前の刑法第十二条に規定する懲役又はその全部の執行猶予を言い渡す裁判は、拘禁刑又はその全部の執行猶予を言い渡す裁判とみなす。

※第２条第７項第６号の罪は、学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律施行令（令和７年政令第 440 号）第２条及び附則第２項に掲げる条例（各都道府県のいわゆる迷惑防止条例及び青少年健全育成条例）で定める又は定められていた罪であって、同号イからニまでに掲げる行為のいずれかを罰するものをいう。